

千波湖環境学習会を開催しました

当協会は水戸市との協働事業で「千波湖環境学習会」を開催し、今年で5年目を迎えます。延べ2,631名という多くの市民の皆様に参加していただき、回を重ねるごとに本学習会の認知度が上がってきているのではないかと、大変嬉しく感じています。

この学習会は、市民が、千波湖やその周辺の自然環境の現状、水質浄化及び保全対策などについて理解を深め、今後の環境保全の在り方を考えていただくために、毎回、体験型のスタイルで行っています。

初回の5月18日は晴天に恵まれ、200名を超える参加者が集まり、「スワンボートで千波湖のプランクトンを調べよう」をテーマに千波湖畔の親水デッキを会場にして開催しました。

当日は、水戸市のマスコット「みとちゃん」が意欲溢れる子ども達を応援に来てくれました。参加した子ども達は指導員や参加した親たちと一緒にボートに乗って千波湖の採水に出かけました。戻ってきた参加者は数名のグループになって、講師から検査の仕方の説明を受けた後、自分で採取した水でCOD（化学的酸素要求量）のパックテストを体験しました。CODの数値は、噴水付近は6～10mg/lと低く、湖岸付近は15～20mg/lと高いことが分かりました。噴水付近は水が循環しているため汚れが少なく、桜川からの流入水が少なく水が滞留している湖岸付近は汚れていることがうかがえます。

この後、プランクトンについて顕微鏡で観察しながら学習する予定でしたが、時間が迫ってしまい実施することが出来ませんでした。残念でしたが次回以降の学習会で実施することを約束して終了しました。



【みとちゃんが来てくれました】



【みんなで記念写真】



【スワンボートで水を採取】



【パックテストの説明】



【採取した水でパックテスト】

最後に、今回、千波湖水質浄化推進協会からポケット顕微鏡を、(株)玄設計と(株)ジイエスケーからジュースを、それぞれ、ご提供をいただきましたこと、水戸市マスコットの「みとちゃん」も学習会に華を添えていただきましたこと、併せて感謝申し上げます。また、今後もこの事業にご協力いただける会員事業所を募集しております。公益推進グループまでお問い合わせ下さい。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。